

平成 19 年（2007 年）の岩手山の火山活動

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

7 月に継続時間は短いが振幅のやや大きな火山性微動が観測されましたが、地震活動、噴気活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過しました。

2007 年の活動概況

・地震や微動の発生状況（図 2～3）

7 月 8 日に継続時間が短く振幅のやや大きな火山性微動が観測されましたが、その後の地震活動、噴気活動は低調な状態で、東北大学の傾斜計¹⁾等による地殻変動観測でも特段の変化は認められませんでした。

火山性地震は少ない状態が続いています。

・噴気など表面現象の状況（図 4～6）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、黒倉山山頂の噴気の高さは概ね 100m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

8 月 28～29 日に西岩手山（大地獄谷、黒倉山から姥倉山）の現地調査を、12 月 18 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により上空からの観測を行いました。

その結果、岩手山山頂、大地獄谷、黒倉山、網張元湯など噴気の状況、赤外熱映像装置²⁾による地表面温度分布に特段の変化はなく、静穏な状態であることを確認しました。

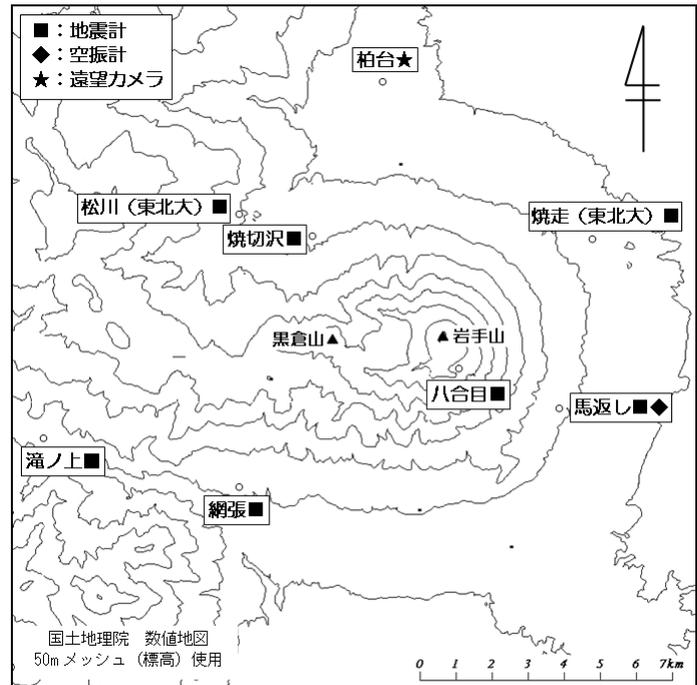


図 1 岩手山 観測点配置図

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。
2) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2007 年の噴火予報及び噴火警報の発表状況

発表日時	噴火警報または噴火予報	活動状況及び予報警報事項
12 月 1 日 10 時 09 分	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)	火山活動はこれまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られない。

注) 平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止しました。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.sendai-jma.go.jp/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料は気象庁のデータの他、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 17 総使、第 503 号)。

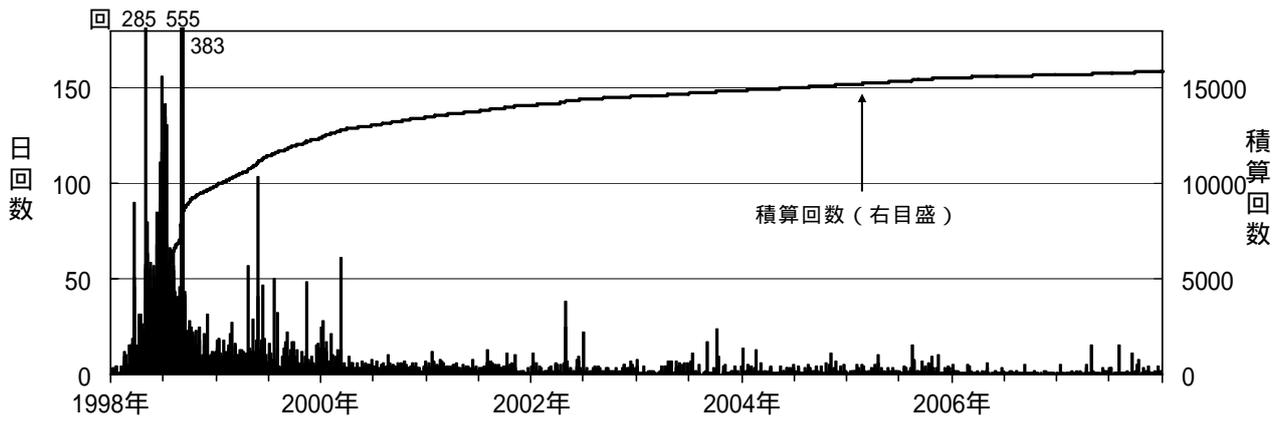


図 2 岩手山 日別地震回数 (1998 年 1 月 ~ 2007 年 12 月)

注) 2006 年 1 月 1 日より、地震回数の基準点を東北大学松川観測点 (計数基準: 振幅 $1.0 \mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内) から気象台焼切沢観測点 (計数基準: 振幅 $0.5 \mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内) に変更しました。2000 年 1 月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。(1998 年から 1999 年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含む)

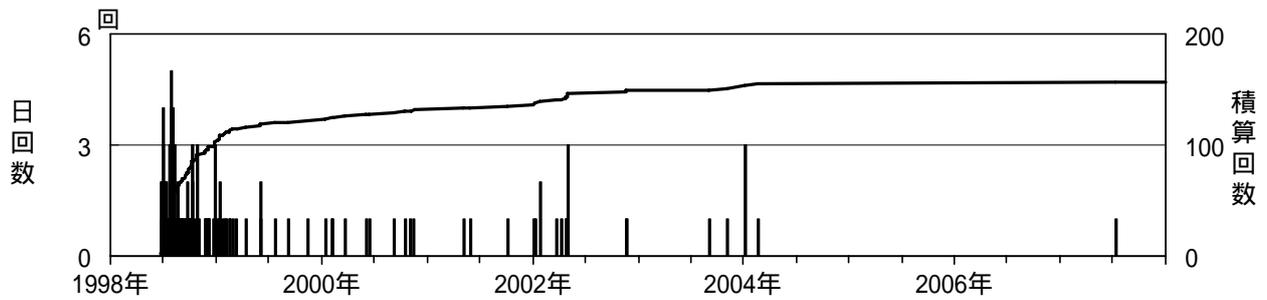


図 3 岩手山 日別微動回数 (1998 年 1 月 ~ 2007 年 12 月)

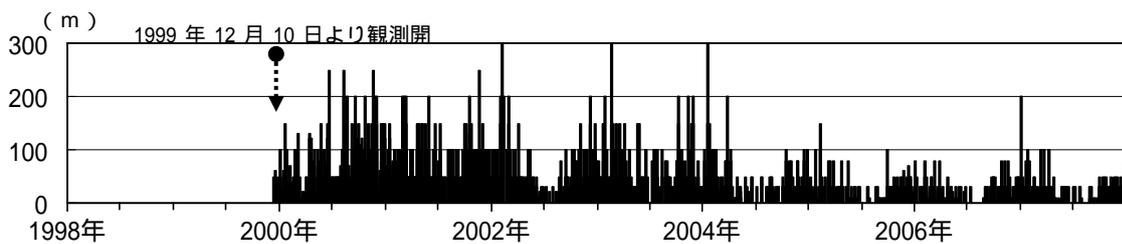
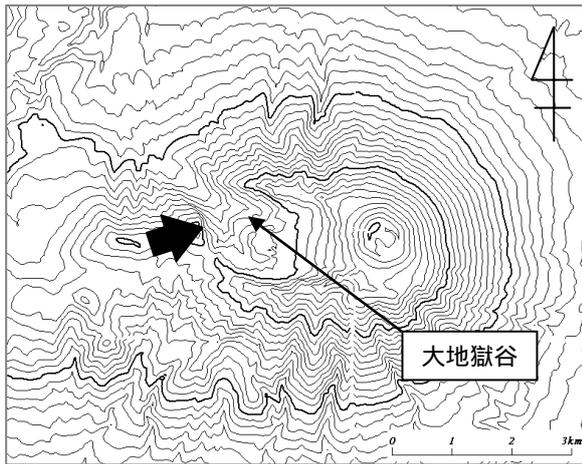
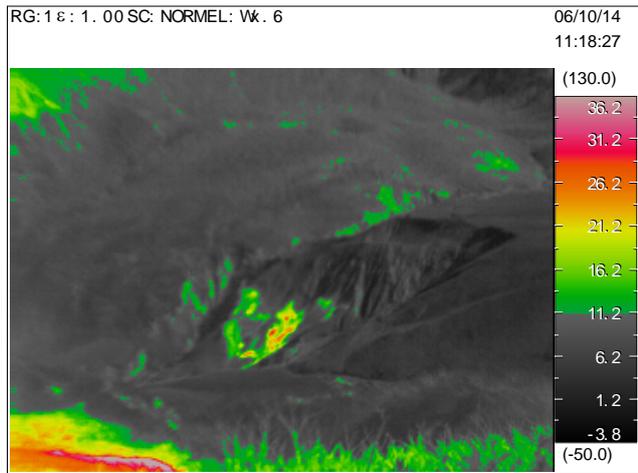


図 4 岩手山 日最大噴気の高さ (黒倉山) (1999 年 12 月 10 日 ~ 2007 年 12 月)

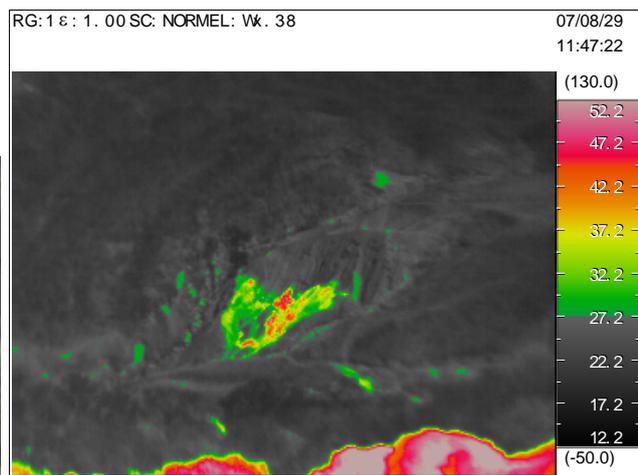
気象台の柏台遠望カメラは、1999 年 12 月 10 日より観測を開始しました。



観測ポイントと撮影方向（大地獄谷）

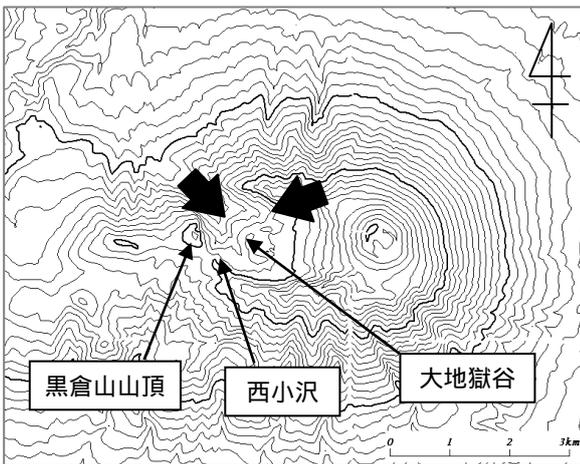


2006 年 10 月 14 日撮影

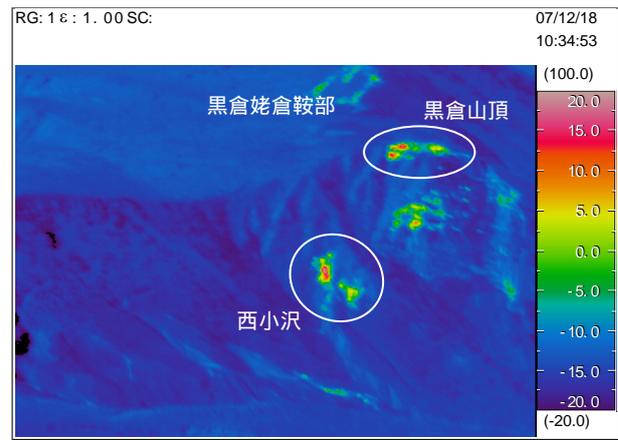


2007 年 8 月 29 日撮影

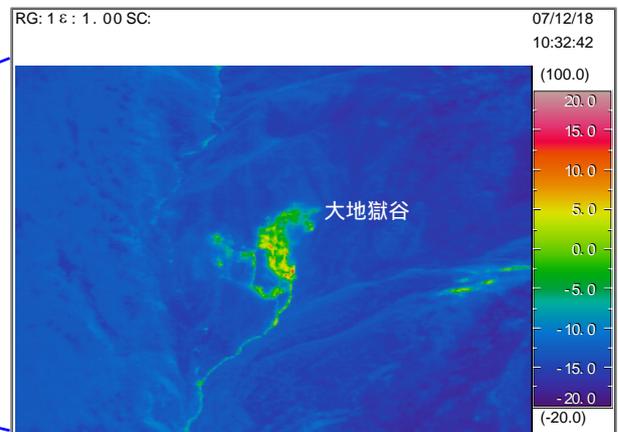
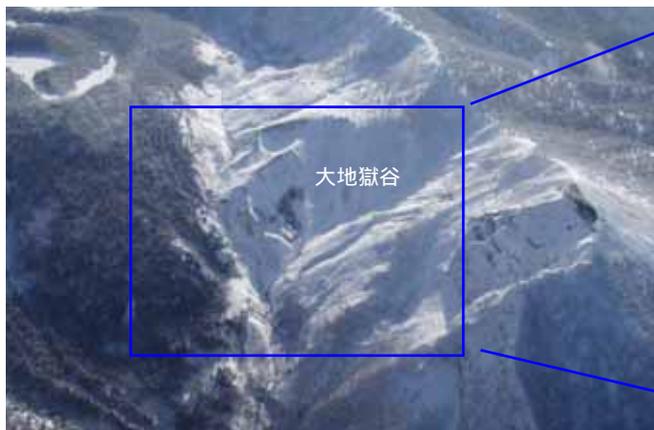
図 5 大地獄谷の可視画像（左）と赤外熱映像装置¹⁾による表面温度分布（右）



観測ポイントと撮影方向 (: 黒倉山山頂と東側崖面、 : 大地獄谷)



黒倉山山頂と東側崖面の状況 (左図: 可視画像、右図: 地表面温度分布図)



大地獄谷の状況 (左図: 可視画像、右図: 地表面温度分布図)

図6 岩手山 上空からの観測結果 (12月18日撮影)

上段: 観測ポイントと撮影方向

中段: 黒倉山山頂と東側崖面の状況

下段: 大地獄谷の状況

(左図: 可視画像、右図: 赤外熱映像装置¹⁾による地表面温度分布図)